

道内の感染状況等について (案)

【令和3年5月5日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (5/4)	715床 ↑	22床 ↑	2092人 ↑	5.9% ↑	1493人/週 (28.1人) ↑	1.55 ↑	41.0% ↑
うち札幌市内	387床 ↑	18床 ↑	1600人 ↑	7.2% ↑	1150人/週 (58.8人) ↑	1.62 ↑	41.8% ↑
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
道ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

国の分科会提言で示された新たな指標

	医療提供体制等の負荷			②療養者数	③PCR陽性率	感染の状況	
	①医療の逼迫具合					④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
全道 (5/4)	確保病床の 使用率 39.5%	入院率 34.2%	確保病床の 使用率 13.6%	39.4人	5.9%	28.1人	41.0%
うち 札幌市内	88.0%	24.2%	36.0%	81.8人	7.2%	58.8人	41.8%
国 ステージⅢ の指標	確保病床の 使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の 使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上
国 ステージⅣ の指標	確保病床の 使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の 使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上

最近の感染状況等について①

【全国的な感染の再拡大】

全国的に感染が急速に拡大しており、4月23日、東京都、大阪府、京都府、兵庫県に再び緊急事態宣言が発令され、宮城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、愛媛県、沖縄県が、「まん延防止等重点措置」を実施すべき区域とされた。

大都市以外の地域でも感染が拡大しており、報道等によると三重県、岐阜県、茨城県、福岡県、徳島県が「まん延防止等重点措置」について国との協議を進めている。

【感染状況】

道内の新規感染者数は、4月28日以降、200人前後の確認が続く中、5月2日には326人と過去最多となり、5月4日には、10万人当たり28.1人/週となっている。各地でも感染の広がりが見られはじめている。

札幌市においては、市中での感染がさらに広がっている。4月28日以降、100人を大きく上回る日が続き、5月2日には246人と過去最多となり、5月4日には、10万人当たりの感染者数でも58.8人/週と過去最多となった。全道の感染者数の7割以上を占め、全道の感染者数を大きく押し上げている。また、感染しやすいとされる変異ウイルスへの置き換わりが進んでいる。

なお、4月24日以降、人流は一定の減少が見られるが、昨年11月下旬の水準には達していない時間帯やエリアもある。

最近の感染状況等について②

【医療提供体制】

札幌市内においては、感染者数の増加に伴い、入院患者数の急激な増加が続き、新規患者の受け入れを休止する基幹病院も出るなど、医療の非常事態という状況になっている。また、市外への広域搬送も必要となるなど、怪我や急病など通常の医療にも影響が生じるような状況となっている。

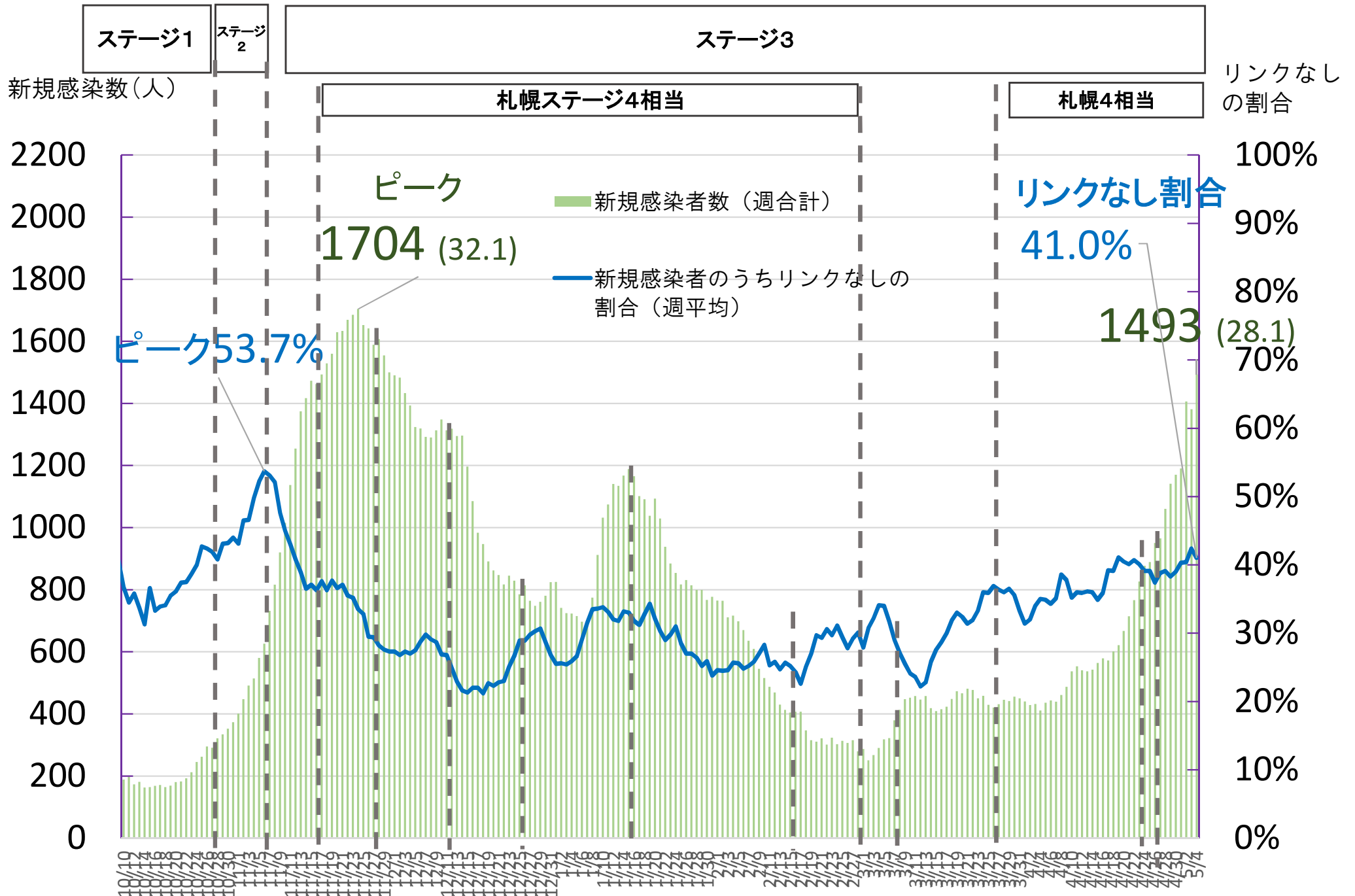
【今後の対応】

札幌市内では市中での感染が広がり、過去最多の感染者数が確認されるとともに、通常の医療にも影響が生じるような危機的な状況に至っている。

札幌市では、病床の増床や一時的に待機を行う「入院待機ステーション」の検討、宿泊療養施設における看護師の増員等といった対策を進めているものの、これ以上の札幌市での感染拡大と他地域への影響をくい止めるためには、人と人との接触機会を徹底して抑える必要がある。

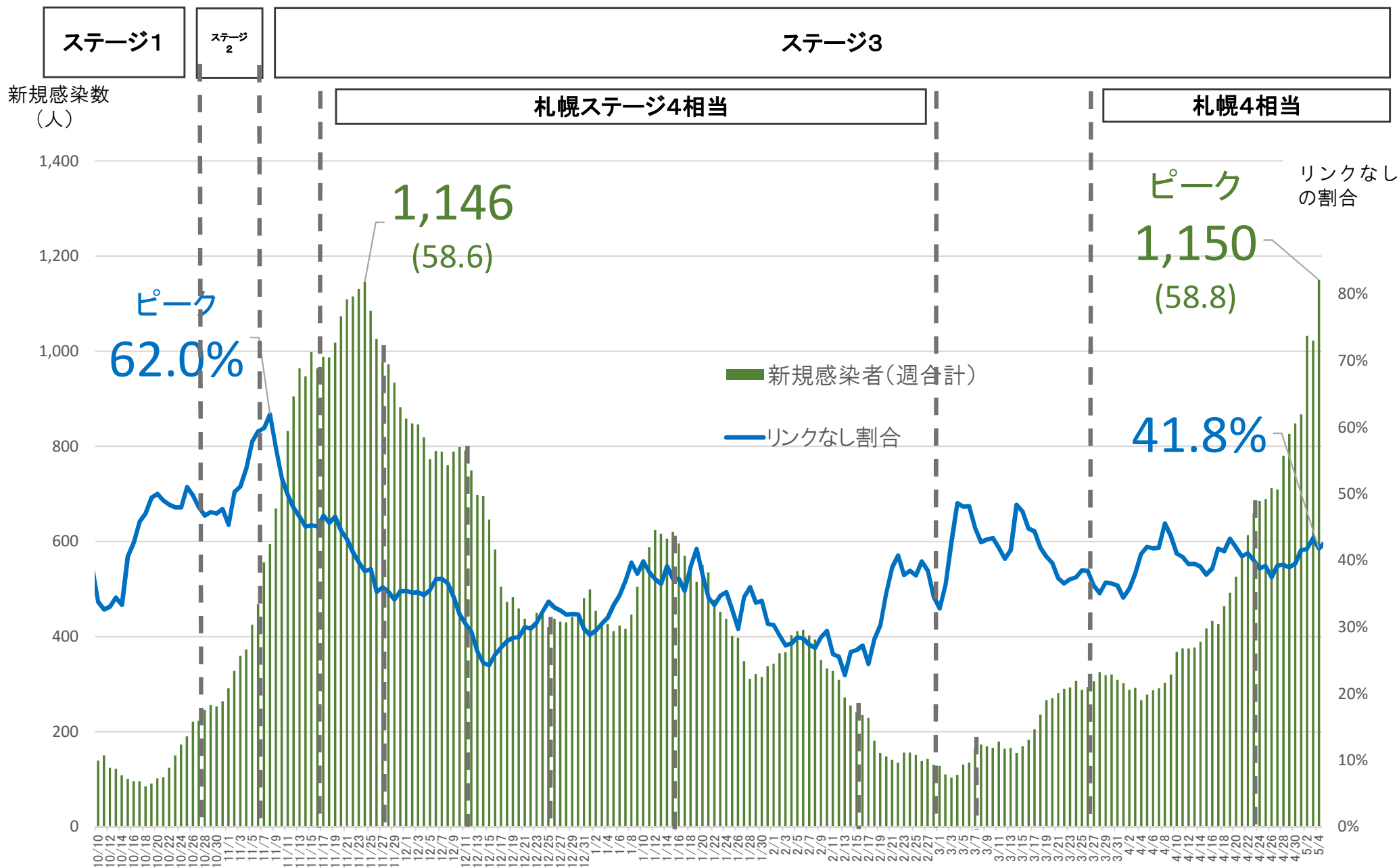
札幌市においては、新規感染者数が過去最多を更新し、急速に増加していること、入院患者及び重症患者も過去最多の水準となり、非常事態とも言える状況となっていることから、札幌市を対象としたまん延防止等重点措置の実施を国へ要請するとともに、緊急事態措置、重点措置の内容を含む、強い対策を実施することが必要である。

感染状況



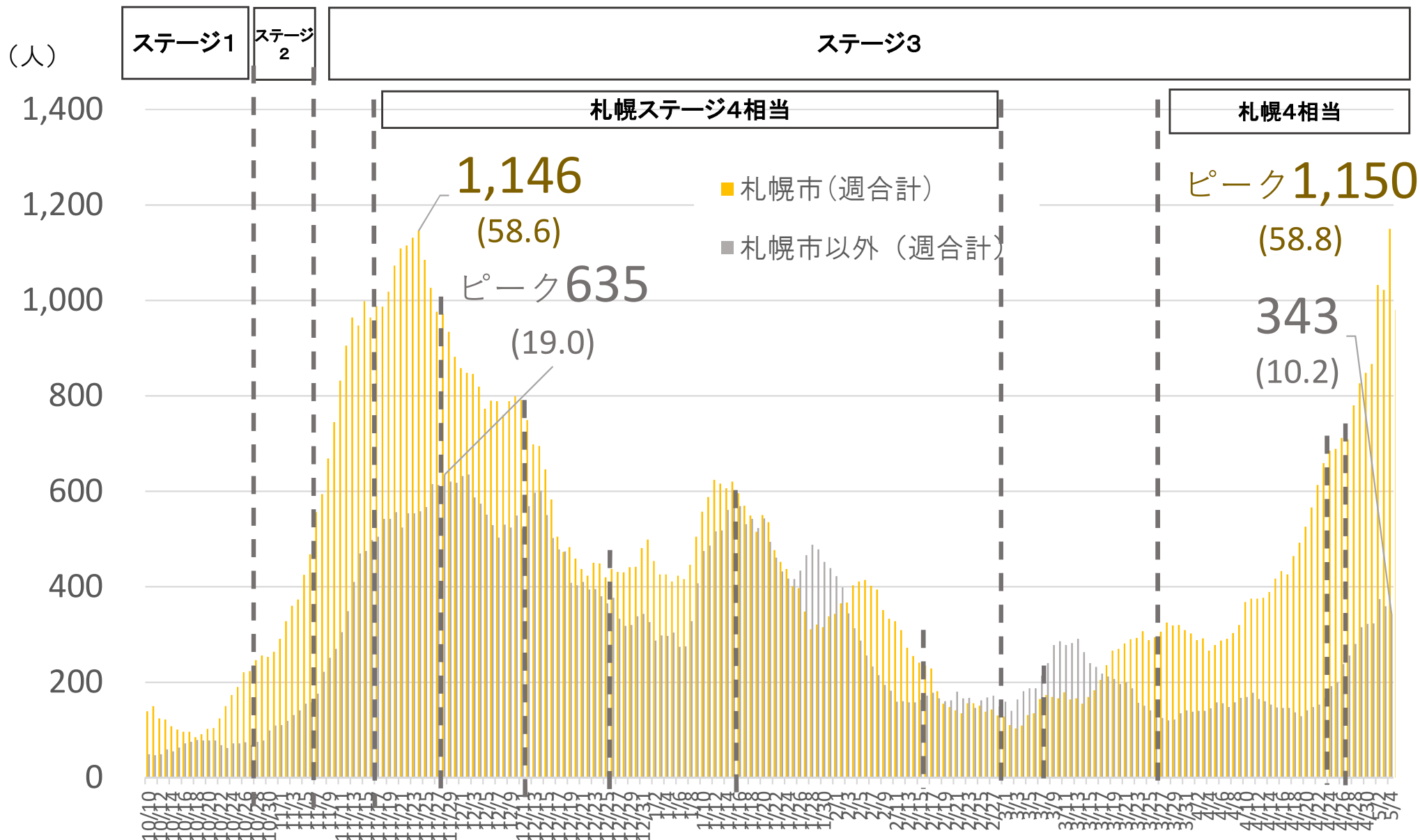
()は10万人当たり人数

札幌市の感染状況



()は10万人当たり人数

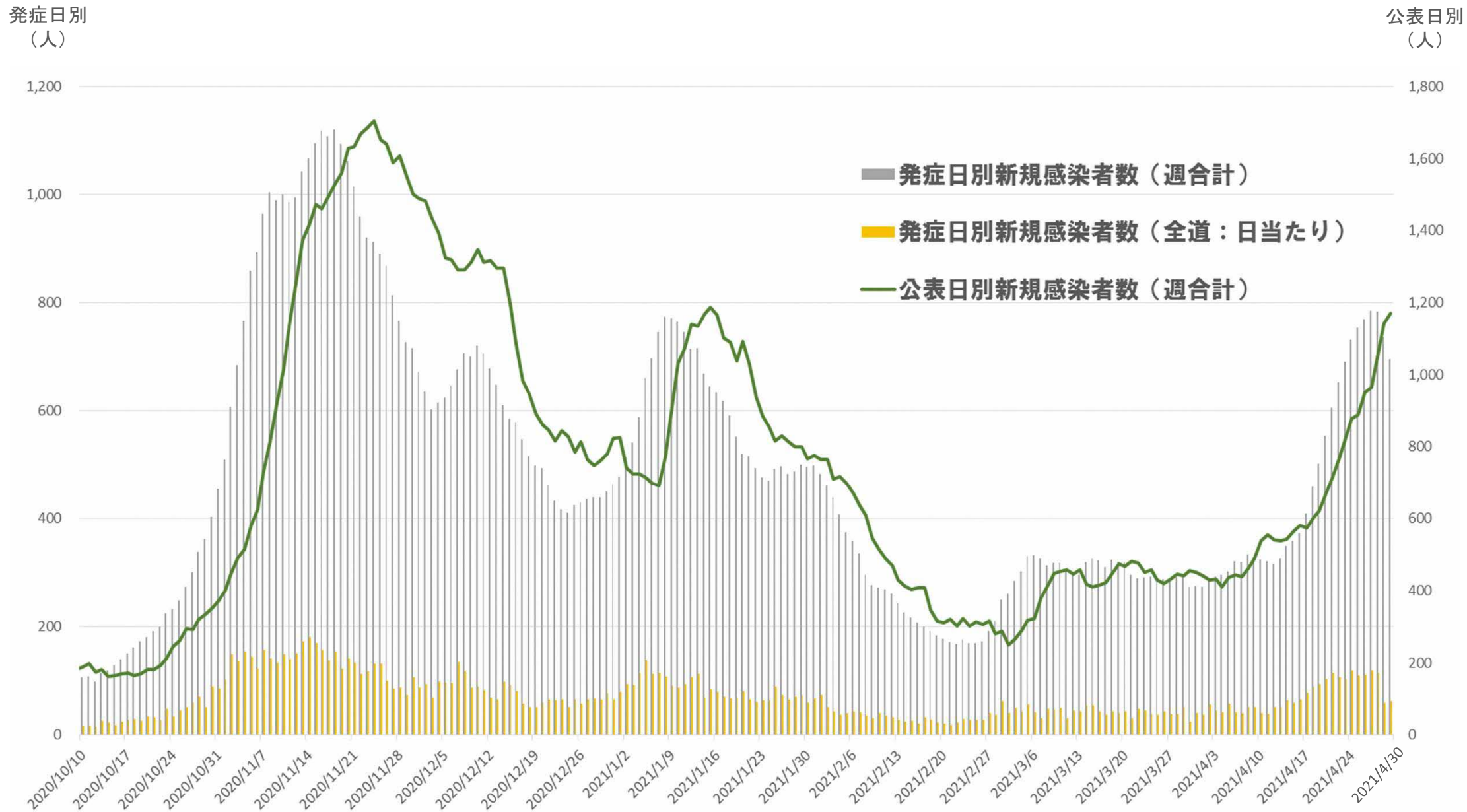
新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



()は10万人あたり人数

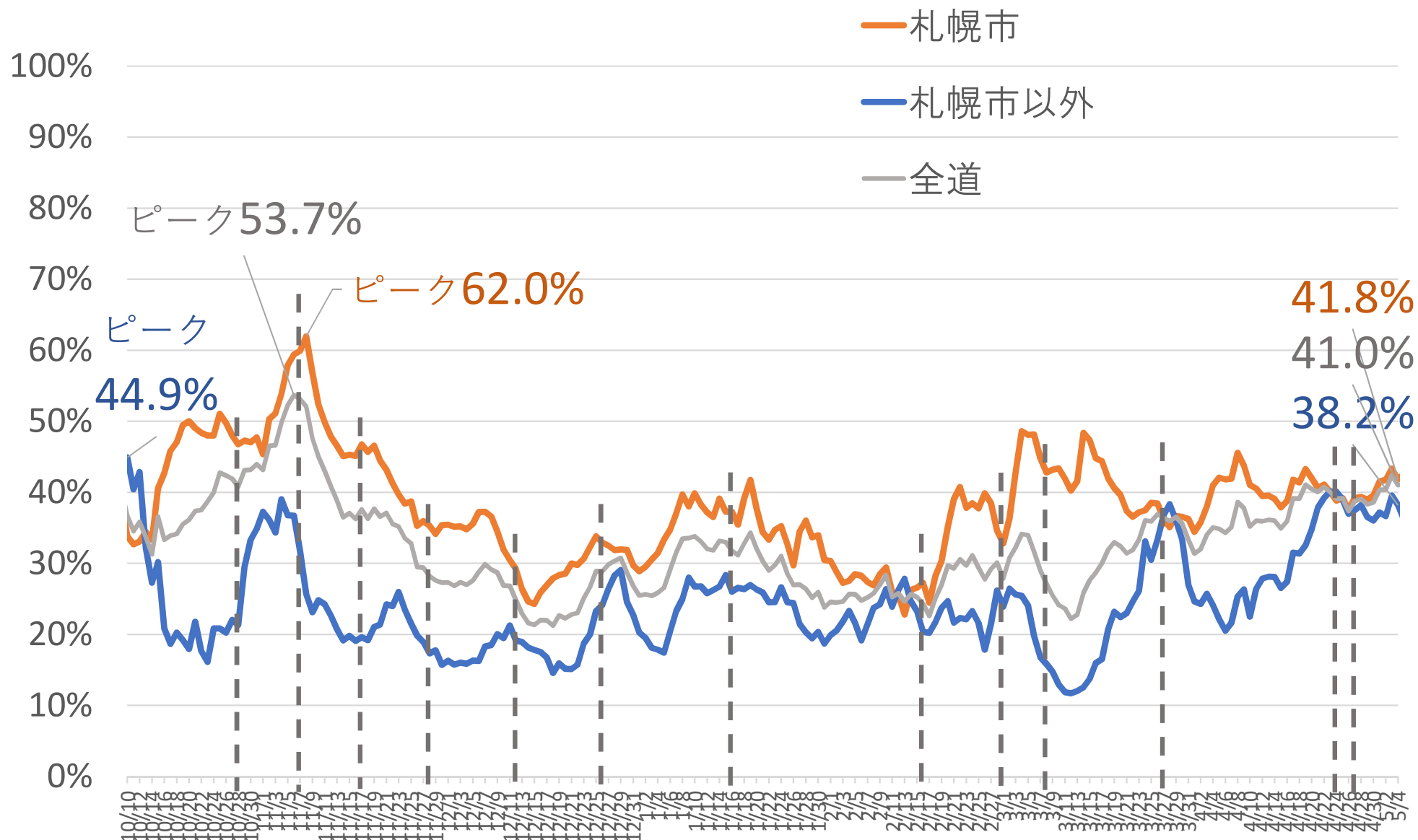
(7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者及び札幌市以外が札幌市居住として発表した者を含む。)

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



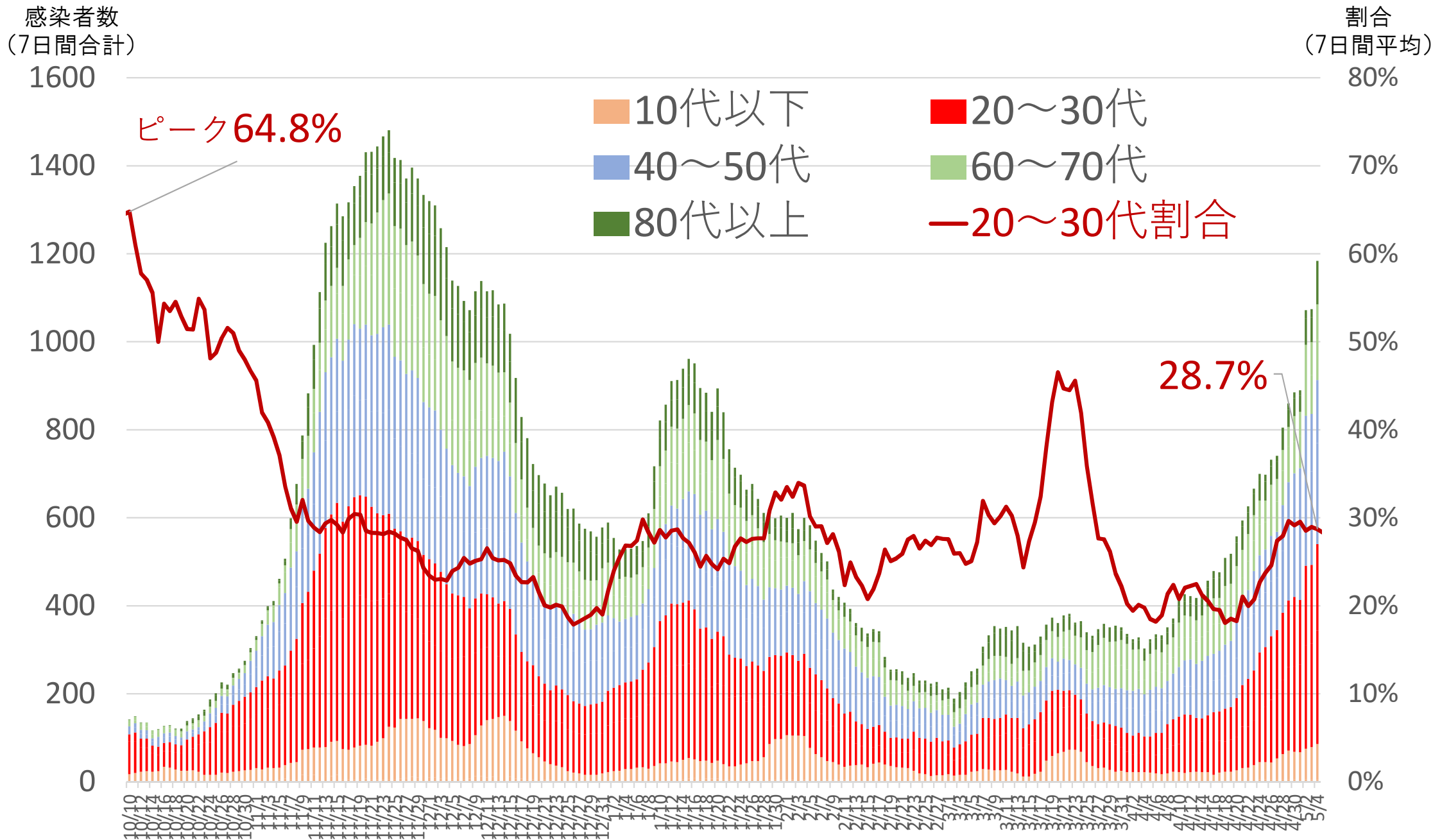
※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

地域別リンクなし割合(札幌市／札幌市以外)



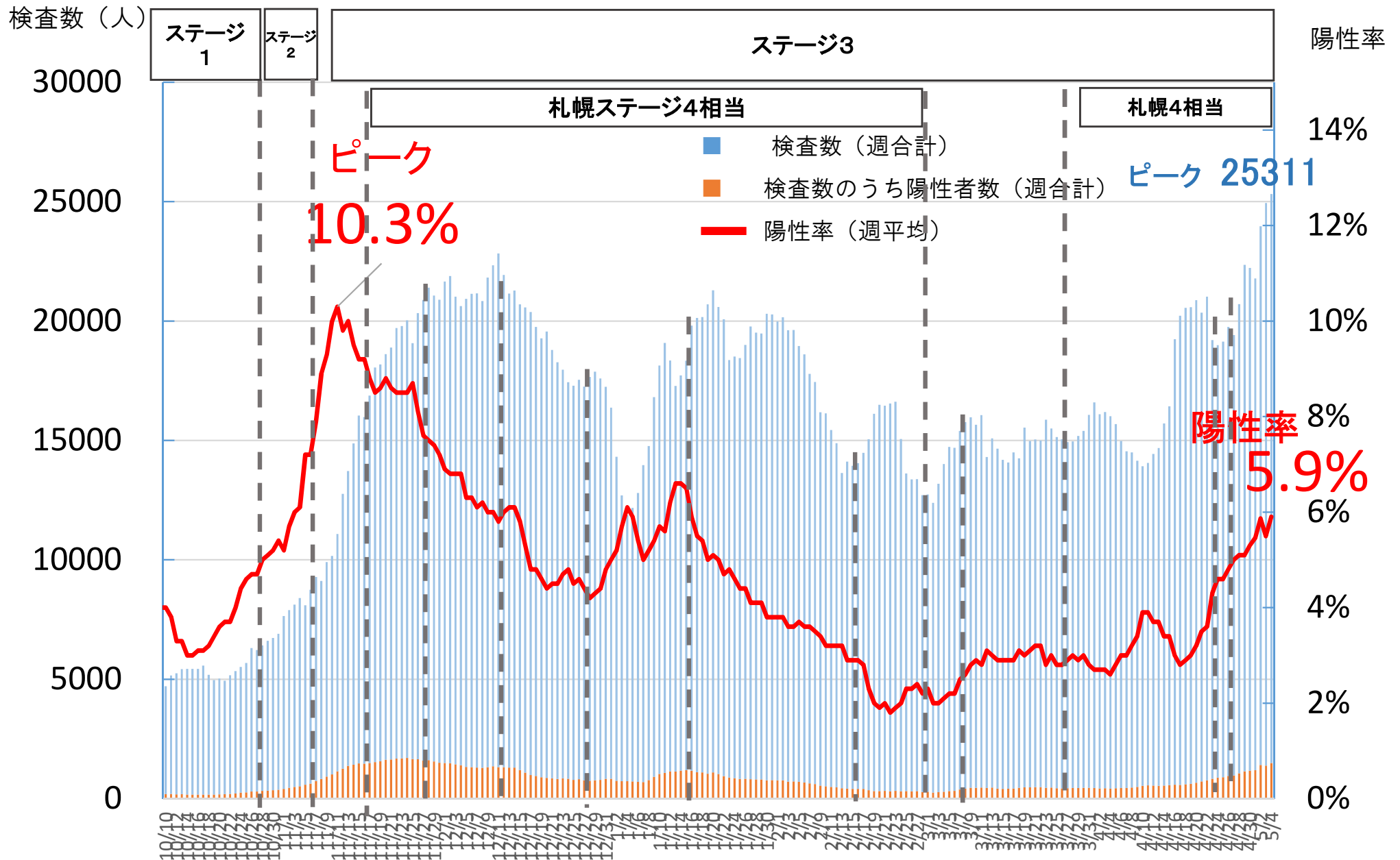
(7日間移動平均)

年代別感染者数と20代～30代の割合

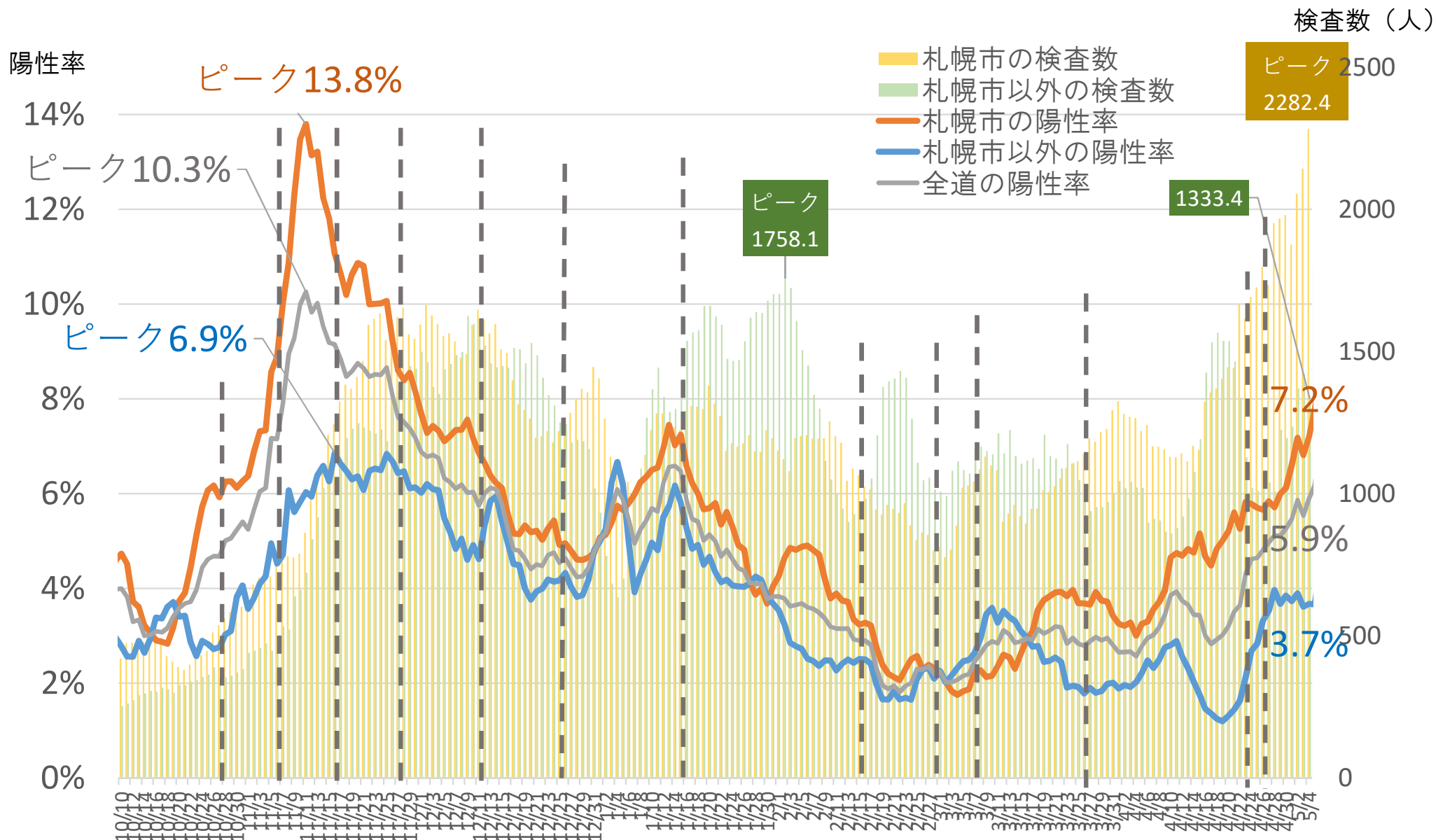


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

監視体制(陽性率と検査数)

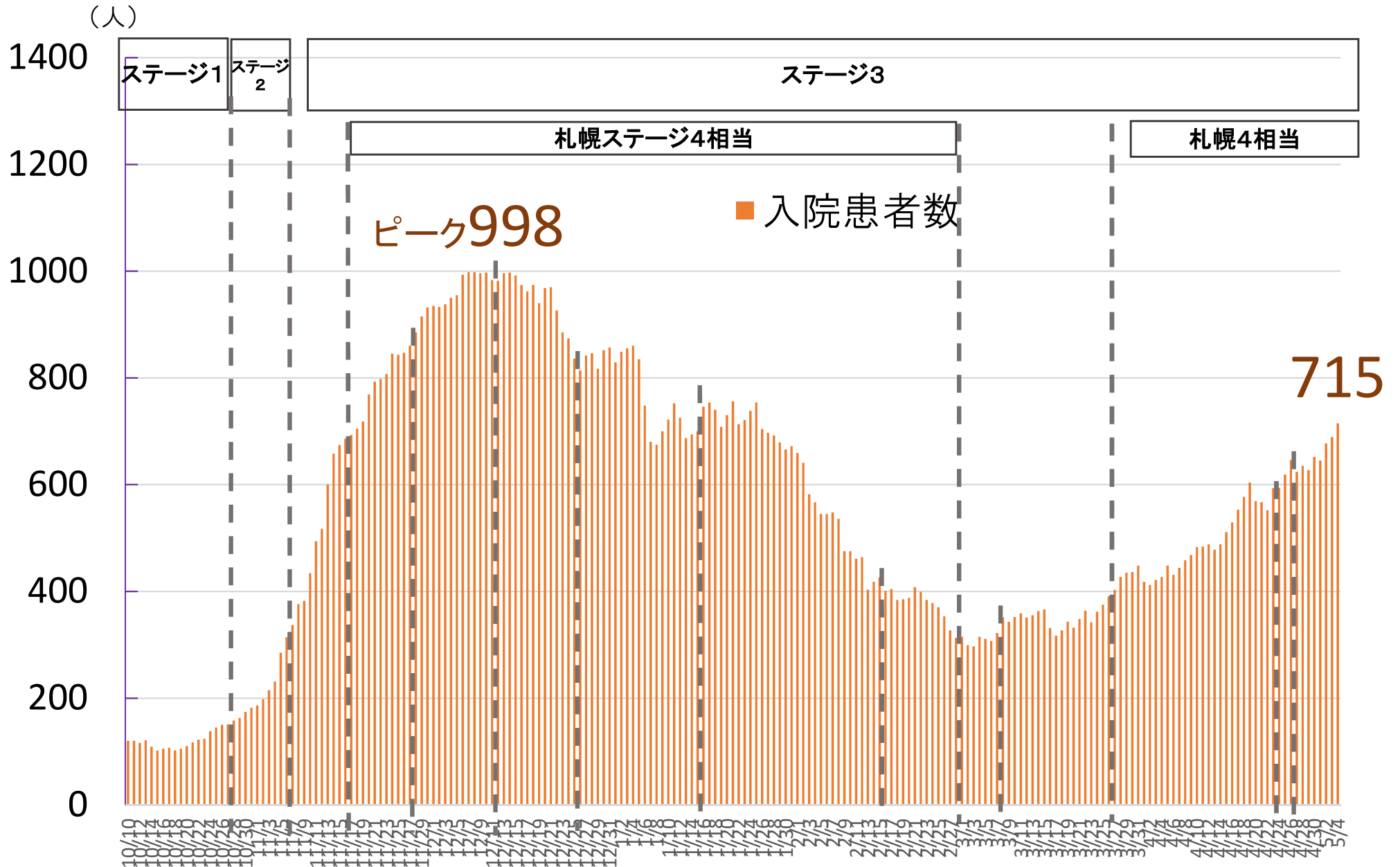


地域別検査数・陽性率(札幌市／札幌市以外)



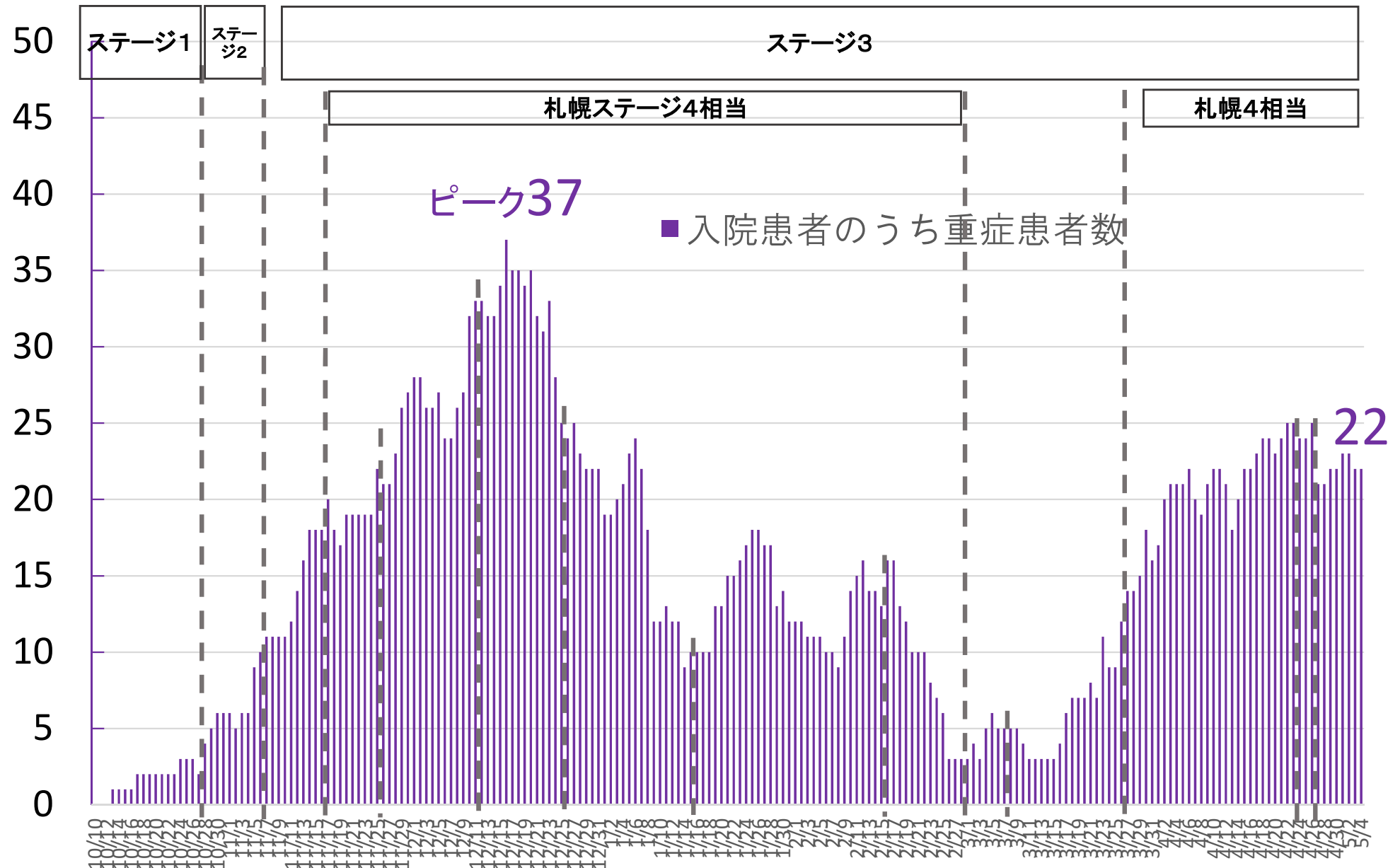
(7日間移動平均)

医療提供体制等の負荷(病床全体)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)

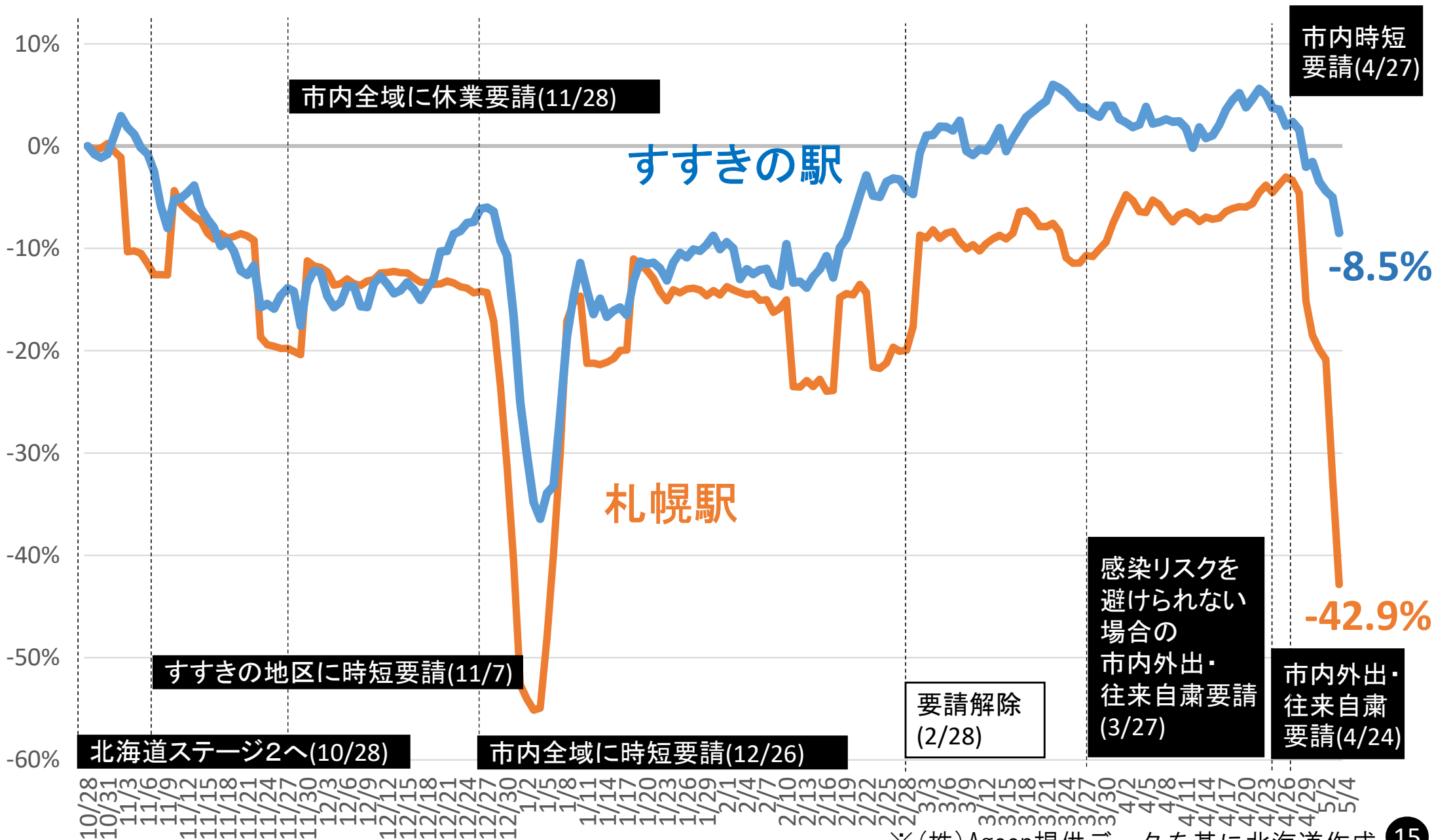
(床)



札幌市内主要地域の人出(対10月28日比)

9時

※9時時点の後方7日間移動平均、令和2年10月28日比

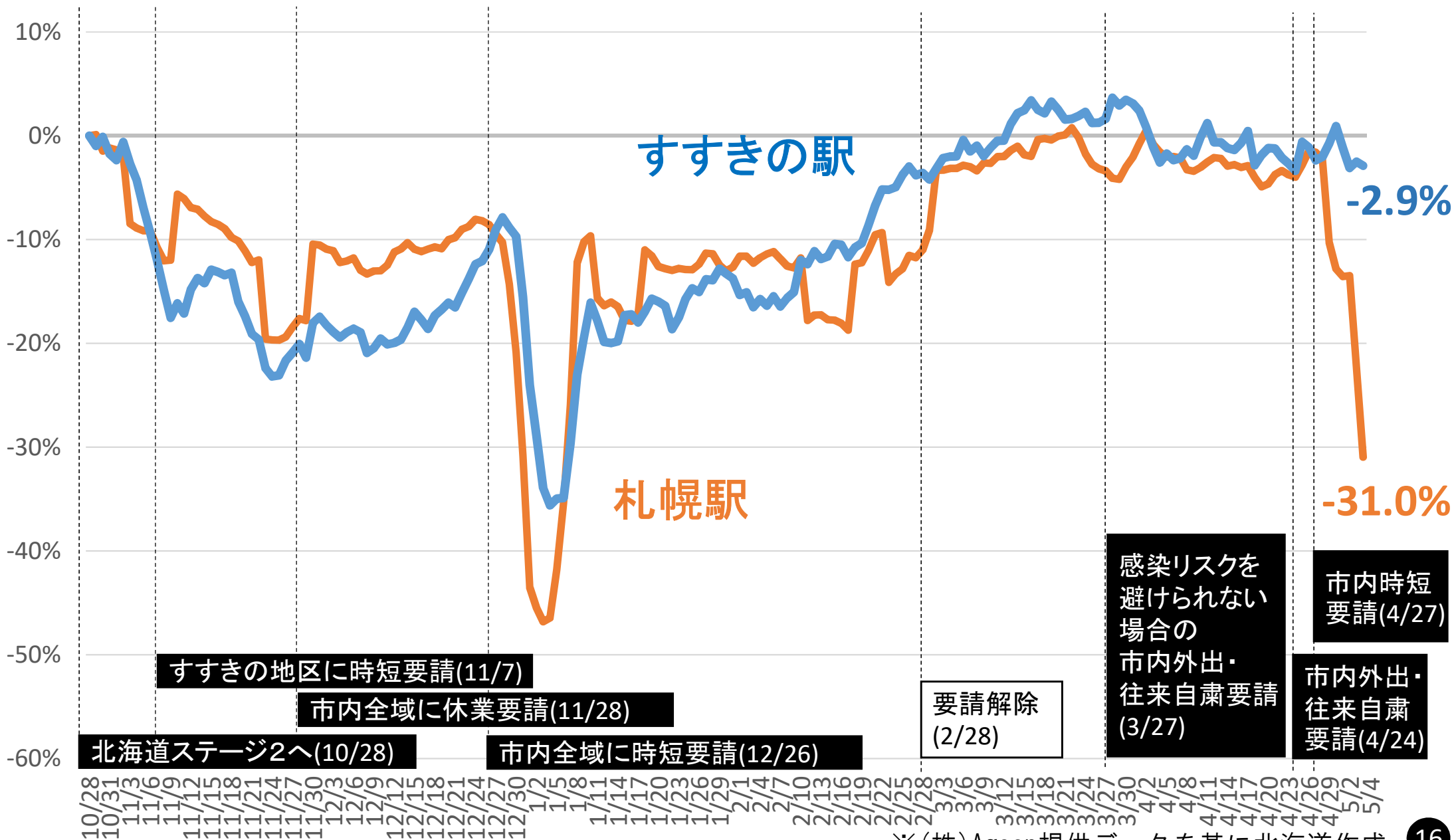


※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

札幌市内主要地域の人出(対10月28日比)

15時

※15時時点の後方7日間移動平均、令和2年10月28日比

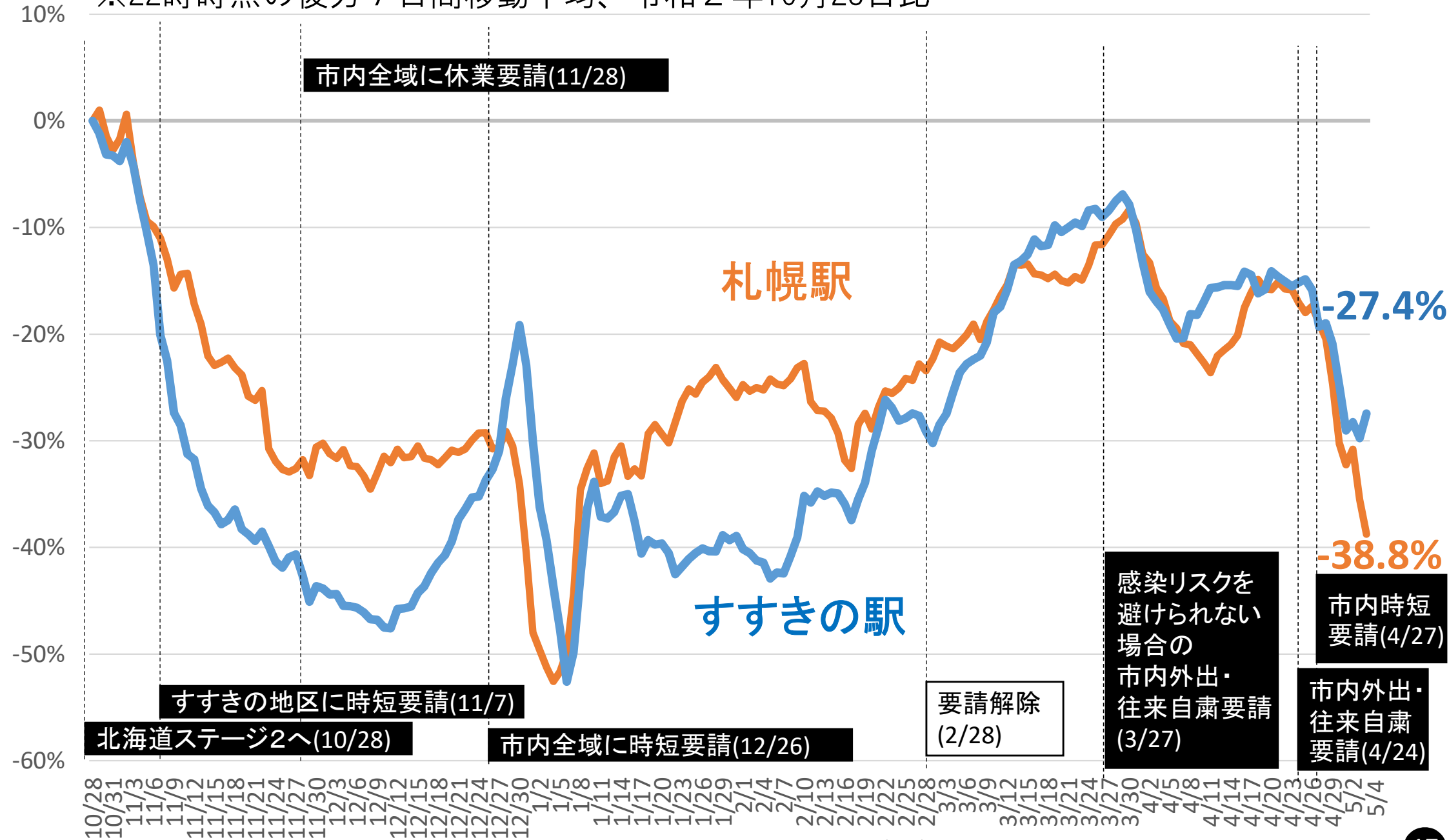


※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

札幌市内主要地域の人出(対10月28日比)

22時

※22時時点の後方7日間移動平均、令和2年10月28日比



集団感染の発生状況

	12月	1月	2月	3月	4月
医療施設 福祉施設	45件 (1572人)	26件 (679人)	15件 (294人)	14件 (294人)	23件 (471人)
事業所等	7件 (143人)	10件 (109人)	10件 (103人)	9件 (110人)	9件 (76人)
飲食店等	7件 (56人)	15件 (174人)	5件 (43人)	8件 (96人)	14件 (102人)
学校	10件 (202人)	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (84人)	7件 (102人)
合 計	69件 (1973人)	58件 (1158人)	33件 (473人)	36件 (584人)	53件 (751人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌以外)

	4/14～4/20		4/21～27		4/28～5/4	
	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外
医療施設 福祉施設	5件 (154人)	1件 (11人)	4件 (61人)	2件 (14人)	7件 (70人)	2件 (22人)
事業所等	—	—	2件 (14人)	1件 (9人)	4件 (43人)	1件 (6人)
飲食店等	—	1件 (7人)	1件 (5人)	4件 (38人)	—	—
学校	1件 (5人)	—	3件 (34人)	2件 (48人)	2件 (24人)	1件 (5人)
合 計	6件 (159人)	2件 (18人)	10件 (114人)	9件 (109人)	13件 (137人)	4件 (33人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

変異株の状況

	新規 感染者数	変異株 PCR 検査数	変異株 PCR検査 実施率	変異株 疑い 事例	変異株 PCR検査 陽性率
①4/14～20	667	419	62.8%	290	69.2%
②4/21～27	965	688	71.3%	548	79.7%
③4/28～5/4	1493	832	55.7%	726	87.3%

初確認(3/6)からの累計 **2193**

うち札幌市 **1743**

(全道の**79.5%**)

※変異株については、新規陽性確認後に別途、変異株のスクリーニング検査を行うことから、各期間(①～③)における新規感染者数の内数とならない。